

〈第 11 回関東ホルモンと癌研究会〉

当番幹事: 生水真紀夫

(千葉大学大学院 医学研究院 生殖機能病態学 教授)

日時: 平成 23 年 1 月 29 日(土)

場所: 持田製薬株式会社 本社 ルークホール

テーマ: 『内分泌療法の現状と課題』

プログラム

14:00-14:05 開会の辞: 当番幹事 生水 真紀夫

14:05-14:50 特別講演 座長: 生水真紀夫

「がんの補完代替療法」

金沢大学大学院医学系研究科臨床研究開発補完代替医療学教授 鈴木 信孝 先生

14:50-15:50 ラウンドディスカッション 一般演題発表

(ポスター10 演題)

CoffeeBreak (会場 3 階会議室)

15:50-17:50 シンポジウム 「内分泌療法の現状と課題」

座長: 市川 智彦先生 (千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学教授)

津川 浩一郎先生 (聖マリアンナ医科大学外科学乳腺内分泌外科)

①白血球・悪性リンパ腫: 核内受容体を介した染色体構造調節機構の解明
東京大学分子細胞生物学研究所 准教授 武山 健一 先生

②前立腺癌: 前立腺癌に対する内分泌療法: 現状と課題
千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学講師 今本 敬 先生

③子宮体癌: 子宮体癌に対する内分泌療法
千葉大学大学院医学研究院婦人科腫瘍重粒子線治療学 准教授 三橋 暁 先生

④乳癌: 乳癌内分泌療法が目指すもの
埼玉医科大学国際医療センター腫瘍内科准教授 佐治 重衡 先生

17:50-17:55 研究奨励賞発表と贈呈式

17:55-18:00 閉会の辞

共催 関東ホルモンと癌研究会 持田製薬株式会社